

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
平成29年 6月 15日	
愛知県知事 殿	
号	提出者
	住 所 名古屋市中村区名駅一丁目1番4
	氏 名 鉄建建設株式会社 名古屋支店
	執行役員支店長 塩畑 泰典
	（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 052-581-9227	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	鉄建建設株式会社 名古屋支店
事業場の所在地	名古屋市中村区名駅一丁目1番4号
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
1 事業の種類	06 総合建設業
2 事業の規模	元請完成工事高 825,414万円
3 従業員数	96人

	④産業廃棄物の一連の処理の工程	土木工事、建築工事 がれき類→中間処理業者に委託して再生砕石等の建設資材として再資源化 木くず→中間処理業者に委託してチップ等として原料・材料として再資源化 建設汚泥→中間処理業者に委託して脱水乾燥後にリサイクル 混合物→中間処理業者に委託して再資源化後、残は最終処分
--	-----------------	--

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙3のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
1 状	【前年度（平成28年度）実績】 別紙1表1のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・現場での分別回収、分別排出 ・材料搬入業者への梱包材の簡素化要請 ・一般廃棄物の混入防止		
②計画	【目標】 別紙1表1のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t

		(今後実施する予定の取組) ・ 上記と同様
産業廃棄物の分別に関する事項		
	①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃プラスチック類、金属くず、木くず、がれき類はそれぞれに分別して保管している
	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 同上

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
1 状	【前年度（平成28年度）実績】 別紙1表2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 該当無し		
②計画	【目標】 別紙1表2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 該当無し		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
1 状	【前年度（平成28年度）実績】 別紙1表3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t

		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した取組) ・該当なし		
	②計画	【目標】 別紙 1 表 3 のとおり		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取組) ・該当なし		

(第 4 面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
1 状	【前年度（平成 2 8 年度）実績】別紙 2 表 4 のとおり			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t		t
	(これまでに実施した取組) ・該当無し			
②計画	【目標】別紙 2 表 4 のとおり			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t		t
	(今後実施する予定の取組) ・該当無し			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 状	【前年度（平成２８年度）実績】別紙２表５のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・地域性もあるが、可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、 最終処分量の低減を図る。		

（第５面）

②計画	【目標】別紙２表５のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処 理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	t	t

		(今後実施する予定の取組) ・ 地域性もあるが、可能な限り優良認定処理業者を選定する。 ・ 委託先の処理業者に対して実地確認を実施する。
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ① 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ② 欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④ 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(別紙1)

表1 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

単位：t

種 類	平成 28年度実	平成 29年度目標	摘 要
がれき類	794.3	530	
がれき類（その他）	59.7	40	
廃プラスチック類	11.9	10	
金属くず	15.0	10	
混合（安定型のみ）	11.5	10	
汚泥	5308.6	3540	
木くず	27.7	20	
紙くず	1.7	1	
混合（管理型）	16.4	15	
合 計	6246.8	4176	

表2 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

単位：t

種 類	平成 28年度実	平成 29年度目標	摘要
がれき類	0	0	
がれき類（その他）	0	0	
廃プラスチック類	0	0	
金属くず	0	0	
混合（安定型のみ）	0	0	
汚泥	0	0	
木くず	0	0	
紙くず	0	0	
混合（管理型）	0	0	
合 計	0	0	

表3 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

単位：t

種 類	平成 28年度実績		平成 29年度目標	
	自ら熱回収を行 った産業廃棄物 の量	自ら中間処分に より減量した産 業廃棄物の量	自ら熱回収を行 う産業廃棄物の 量	自ら中間処分に より減量する産 業廃棄物の量
がれき類	0	0	0	0
がれき類（その他）	0	0	0	0
廃プラスチック類	0	0	0	0
金属くず	0	0	0	0
混合（安定型のみ）	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0
木くず	0	0	0	0
紙くず	0	0	0	0
混合（管理型）	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0

(別紙2)

表4 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

単位：t

種 類	平成 28年度実	平成 29年度目標	摘 要
がれき類	0	0	
がれき類（その他）	0	0	
廃プラスチック類	0	0	
金属くず	0	0	
混合（安定型のみ）	0	0	
汚泥	0	0	
木くず	0	0	
紙くず	0	0	
混合（管理型）	0	0	
合 計	0	0	

表5 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

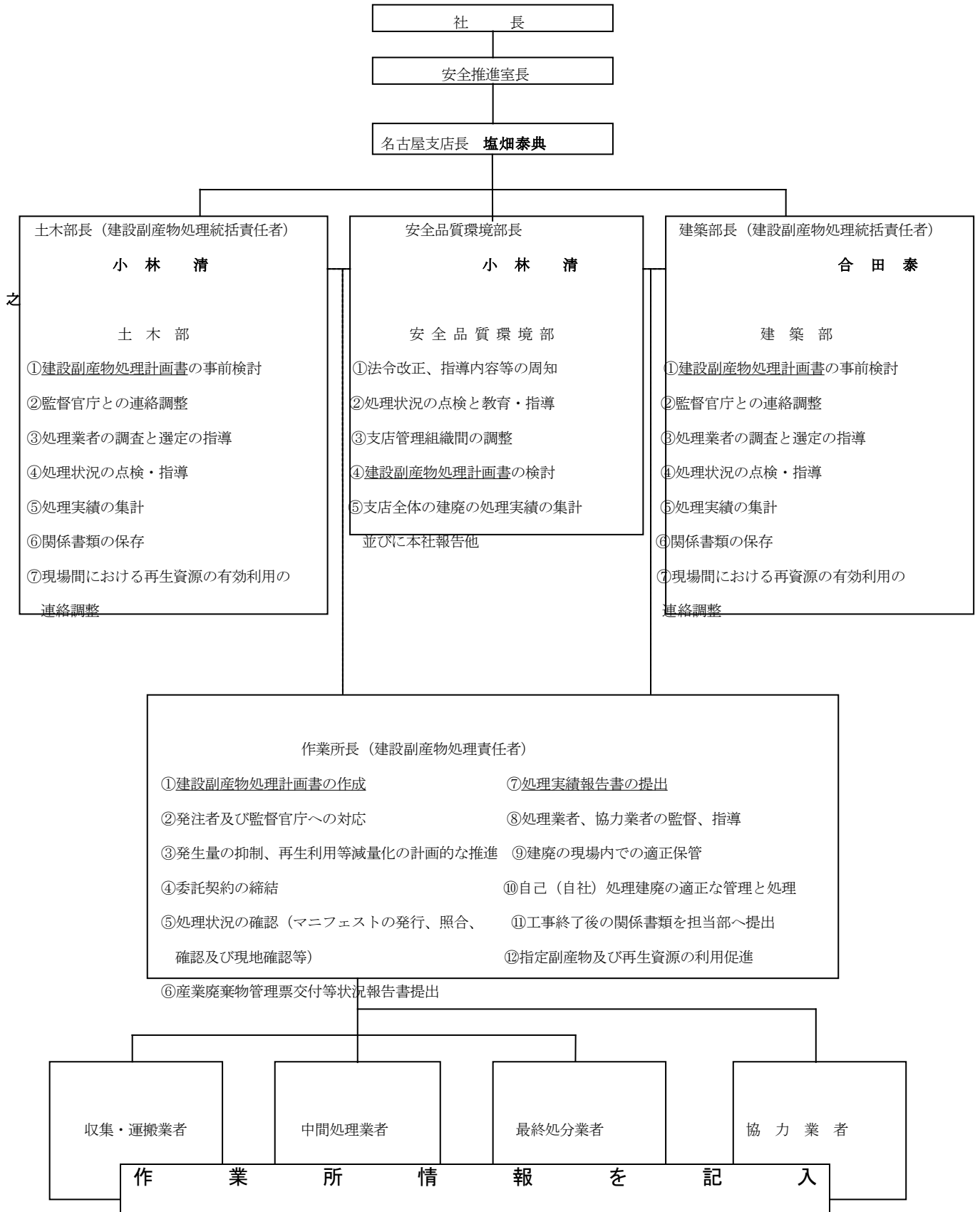
単位：t

種 類	平成 28年度実績				平成 29年度目標			
	優良認定 処理業者 への処理 委託量	再生処理 業者への 処理委託 量	認定熱回 収業者へ の処理委 託量	認定熱回 収業者以 外の熱回 収を行う 業者への 処理委託 量	優良認定 処理業者 への処理 委託量	再生処 理業者 への処 理委託 量	認定熱 回収業 者への 処理委 託量	認定熱 回収業 者以外 の熱回 収を行 う業者 への処 理委託 量
がれき類	252.6	794.3	0	0	170	530	0	0
がれき類（その	55.0	59.7	0	0	35	40	0	0
廃プラスチック	11.9	11.9	0	0	10	10	0	0
金属くず	15.0	15.0	0	0	10	10	0	0
混合（安定型の	8.5	11.5	0	0	8	10	0	0
汚泥	0	5308.6	0	0	0	3540	0	0
木くず	25.2	27.7	0	0	20	20	0	0
紙くず	1.7	1.7	0	0	1	1	0	0
混合（管理型）	13.9	16.4	0	0	13	15	0	0
合 計	383.8	6246.8	0	0	267	4176	0	0

(別紙3)

名古屋支店建設副産物管理組織表

平成29年4月1日現在



注) 再生資源利用については図中の下線部を再生資源利用促進又は再生資源利用と読み替える。